

聖地巡礼「鬼ツアー」とは？

「鬼滅の刃」の聖地と言われている別府温泉で
「鬼伝説」や「竈門一族の里」を探検するツアーです。



P: 駐車場有り
QR: 説明動画
有料: 説明動画
有料: 有料施設

火男火壳神社 P

嘉祥二年(西暦849年)創祀。別府市鶴見地区(大字鶴見)の鎮守の神(氏神)であり、「鶴見権現」とも呼ばれ北隣の鉄輪(温泉)地区住民にも親しまれ、別府市近隣より多くの参拝者が訪れてています。御祭神は伊邪那岐尊、伊邪那美尊、火迦具土神(ホノカグツチノカミ)の三柱。日本で最初の夫婦の神様とその子供である火の神様を祀っています。火の神はカグツチとも呼ばれ「鬼滅の刃」は構想段階では「鬼狩りカグツチ」「炭のカグツチ」であり、主人公が「ヒノカミ神樂」を舞う事からも聖地として注目されています。
※ファンの間ではカグツチとアマテラスが作品のモチーフでは?と言われています。太陽神アマテラスは別名日の神。神社のすぐそばには鉄輪温泉。日輪刀の着想はここから?作者のニックネームはワニ先生。鬼山地獄のワニを連想させます。

貴船城 P 有料

貴船城には、刀鍛冶のひょっとこの面、鼓屋敷に住む鬼の持つ鼓があり、柱のひとりに巻き付く白蛇がいるとの事です。探してみてはどうでしょうか?



別府湯けむり展望台 P

鉄輪温泉の貴船城の近くに国の文化的景観に指定されている湯けむりを一望出来る別府湯けむり展望室があります。市内に408本の湯けむりが舞上がっており、この展望台からは別府の山々と湯けむりと温泉街の大パノラマ景観を見ることができます。天気次第では、湯けむりは高く上がり上空の雲と一緒に、無数に白龍が舞っているかのように見えることがあります。



竈門一族の墓地 (羽室御靈社) P QR

(大分県指定史跡 竈門氏墓地古墳群(昭和50年3月28日指定)
(大分県指定有形文化財 竈門氏墓地五輪塔(同年指定)

旧羽室台高校の近くに、竈門氏の居城だった羽室城跡があり竈門氏累代の墓所があります。造立年代は塔の形式から鎌倉時代後期から室町前期で、当時この地を治めていた竈門氏の墓地と考えられています。そこには沙弥道善(竈門次郎)という人物の墓があります。地元には源為朝に関連した伝説が残っています。



姫山メンヒル・大石等 巨石信仰

別府市内には高さ約4mの姫山メンヒルや立石メンヒルなどの巨大な岩があり古くから巨石信仰に関わる遺跡であると言われています。



別府大学の近くに大石というバス停があり、周辺の住宅地に鶴見山の噴火で出来たと言われる安山岩(別府石)の巨石が点在しています。中には割れ目のある巨石もあり、「鬼滅の刃」に出てくる主人公竈門炭治郎が修行した場所にあった大石とも重なって見えてきます。

鬼の岩屋古墳 QR (国指定史跡 昭和32年11月28日指定)

鬼の岩屋古墳は、6世紀後半に造られた2号墳と6世紀末に造られた1号墳からなる古墳群です。2号古墳の大きさは約38mとこの時期の古墳としては県内最大規模の古墳です。石室の大きさは玄室が3×4.2m、羨道の幅が1.7mある横穴式石室です。また、玄室の壁面には装飾が複数確認され、大きな鬼の目が睨んでいるような邪視文状の彫り込みもあります。さらに鬼が大きな石を積んでつくったように見えるところから鬼の棲家である「鬼の岩屋」という鬼伝説が生まれたのかも知れません。



※古墳の周辺は住宅地で、民家や学校もありますので、静かに見学してください。
駐車場や駐車スペースは有りませんので、車の乗り入れはご遠慮願います。

(鬼川商店街駐車場)

蕩邪泉跡 (とうやせんあと) P

かつて小倉街道の西側山裾にあつた歴史ある温泉浴場跡。鬼川の庄屋、高橋万之丞が博打をした者から徴収した罰金を資金に建設。学者である帆足万里が「邪悪な心を洗い流す」事を意味する蕩邪泉と名づけました。

(鬼川商店街駐車場)



亀の甲広場 P QR

承和元年(834~848)に、つがいの白亀が見つかり朝廷に献上した事が鬼川の地名の由来とされ、その2匹の白亀の墓とされる白亀塚があります。中国故事には四獸(麒麟・鳳凰・亀・龍)ということがあります。この四獸が悪霊や疫病など人を不幸にするすべての物を撃退するパワーを持っていると言われており、神社の天井画などによく描かれています。亀の甲広場にある沢山の亀も災いをもたらす鬼や災害・疫病等から、これまで亀川住民を安全に守って来たとも言われています。



亀川町・竈門荘 P QR

現代では、別府医療センターや太陽の家に代表される福祉と医療の町として、また、立命館アジア太平洋大学が立地する国際色豊かな町として知られる亀川ですが、かつては竈門荘と呼ばれる地域でした。八幡竈門神社はその竈門荘の氏神様で「鬼滅の刃」で知られるまでは、地元の人が参拝するお社でした。最近では地元J1サッカーチームのトリニータの選手たちが勝利祈願のために参拝する神社としても知られています。

(亀川商店街駐車場)

鎮守の社

神龜4年(727)3月15日に八幡大神の御神靈が降臨したと言う伝説が残る社。八幡大神の石碑が建てられています。

かまど地獄 P QR 有料

ファンの間で話題になっている人気スポットです。古来、竈門神社にお供えする供物を地獄の噴気で調理していた事からこの名前が付きました。神様との賭けに負けた鬼はこの地獄で働く事で懲悔したとの事です。ポン次郎のモデルと思われるタヌキのイラストをはじめ天狗の面、竈門の鬼、水色の龍、日輪刀らしき龍の刀、藤の花、呼吸で揺らぐ噴気と見どころ満載です。



竈(かまど) 橋

竈(かまど)橋は、血の池地獄の前を流れる柴石川に架かる県道の橋名です。八幡竈門神社の鬼伝説に出てくる悔い改めた鬼が竈門地獄に門番として毎日通うためにかけた橋とも言われています。



血の池地獄 P 有料

豊後風土記や万葉集にも赤湯泉として登場する歴史のある地獄。酸化鉄によって血のような朱色に染まっている事からこの名がつきました。昭和2年(1927)には高さ220メートルに達する大爆発を起こしています。平成21年(2009)国の名勝に指定されています。園内の至るところに鬼の絵が見られますので鬼を探してください。



龍巻地獄 P 有料

30~40分間隔で噴出する間欠泉。激しく噴き上がる熱湯と湯けむりが龍巻のように見えます。昭和52年(1977)別府市の天然記念物に指定。平成21年(2009)国の名勝に指定されています。



八幡竈門神社 P QR

ヤマトタケル西征の際に神功皇后が亀山の地に三十三神を奉斎した事が起源となり、神龜4年(727)仲哀天皇、応神天皇の神靈が竈門宝城峯に降臨。御越山に遷座し竈門宮に奉斎されます。これをもって創建とし、天長3年(826)宇佐より神功皇后の神靈を迎え八幡竈門宮と称されます。「鬼滅の刃」の聖地と言わゆる神社境内には、龍の絵や鬼伝説等があり大人から子供まで多くの人が訪れていました。「鬼滅の刃」の聖地として話題となっている八幡竈門神社ですが物語にリンクするものが多く見られます。龍の水神様・鬼が造った九十九の石段・神楽殿・龍頭・魂依の木・龍穴・鬼の石草履・神域から映える朝日など見どころがいっぱいです。



JR亀川駅 P

明治44年(1911)7月16日、当時の鉄道院(現在のJR九州)によって開設。昭和17年(1942)からは路面電車(別府大分電鉄)も開通されました。